



(報道関係各位)

令和5年2月6日 発表

【本件に関するお問い合わせ】

☑ HP 公開

川越市役所 こども政策課 こども政策担当 担当者：間仁田 雅彦

☎049-224-6278 (直通) Fax : 049-223-8786 メール : kodomoseisaku@city.kawagoe.lg.jp

川越市におけるヤングケアラー実態調査の結果報告

概要

川越市におけるヤングケアラーの実態を把握するため「毎日の生活についてのアンケート調査（ヤングケアラーの実態調査）」を実施し、このたび、調査結果がまとまりましたので公表します。

調査対象者及び回答状況

- ・調査対象者：市立学校の小学4年生から高校3年生まで 18,214人
(小学生 8,759人、中学生 8,568人、高校生 887人)
- ・回答者数：3,572人 (回答率 19.6%)

調査期間

令和4年9月12日(月)～10月3日(月)

調査結果(概要)

調査の結果、家庭内で何らかのケアを行っている児童生徒は約14人に1人の割合(回答者3,572人のうち259人、全体の7.3%)となり、国の実態調査(約15人に1人)と同程度の割合でケアを行う子どもがいることが推測されます。

このアンケート結果から伺える家庭内でケアを行っている259人の主な状況は次のとおりです。

ケアを必要としている人の続柄

「弟」(34.7%)、「妹」(29.7%)、「母親」(27.4%)の回答が多くありました。

ケアの内容

「家事」(45.6%)、「そばで見守り」(41.7%)、「きょうだいの世話」(30.5%)という回答が多くありました。

ケアの頻度

「ほぼ毎日」(32.0%)、「週3～5日」(23.2%)、「週に1～2日」(22.0%)という回答が多くありました。



相談した経験の有無

「相談経験なし」(70.3%)、「相談経験あり」(26.3%)と相談経験のない児童が約7割という結果となりました。

希望するサポート

「勉強」(15.8%)、「自由な時間が欲しい」(12.0%)、「自分の話を聞いてほしい」(10.8%)というサポートを希望する回答が多くありました。

今後は、ヤングケアラーについてさらなる周知啓発を行うとともに、今回の調査結果については、ヤングケアラーとなる子どもが必要とする支援の検討に活用してまいります。